

<p>伝道弟子伝道弟子が常に受ける答え(使徒 1:8)</p> <p><b>* 序論</b>                  (1) キャンプするの(一番重要な部分)が何か                  ① 地域キャンプ                  ② 重職者キャンプ                  ③ 黄金漁場キャンプ                  ④ お手伝いチーム                  (2) 聖霊導き-イエス様の方法の中で最も重要な方法                  ① 募集 x-呼ばれること                  ② 多数 x-少数                  ③ 方法 x-ともに                  ④ ルール(rule)x-模範                  ⑤ 利益 x-死                  ▲ キャンプしながら最も重要な聖霊の導きを受けるのだ。この方法が(上の五つ)タラッパンのすべてだ。聖霊の導きを受けるほかはない。                  (3) 聖霊の導きを受ければどうなるのか                  ① 現場 絶対に失敗しない現場をくださる。                  ② 実-臨時ではなくて永遠に神様の子どもを備えておかれて実を出るようになれる。                  ③ 弟子-絶対に揺れない弟子をたてられる。                  ▲ これが伝道弟子が一生胸に抱いて味わわなければならない祝福だ。これをしようとするならいくつかのことを参考にしなければならぬ。  <b>1.捨てれば受ける答え</b>                  (1) ただ(使徒 1:8)-ただ聖霊が臨めば...                  ▲ ただイエスだけが事業が成り立ち、勉強が成り立ち、教会が生かされたら本当の弟子だ。                  (2) 動機(使徒 1:14)-動機を捨てれば最も大きい答えがくる。                  (3) 不信仰(使徒 2:1-4)-不信仰を捨てて、その場に行けば風のような炎のような働きが起きる(使徒 2:1-4)                  (4) 先入観(使徒 2:41)-先入観を捨てれば 3千弟子が起きる。                  (5) 表面の人(使徒 2:43-47)-表面の人を見る基準を捨ててしまえば神様の働きが起きる。  <b>2.待てば来る答え</b>                  (1) 使徒 1:1、時刻表-私の人生、仕事の中でこの時刻表がくるように待ちなさい。                  (2) 使徒 13:3、神の国                  (3) 使徒 18、聖霊の満ちし-この時刻表がくるように待ちなさい。  <b>3.味わえば受ける答え</b>                  (1) 使徒 2:9-11、15ヶ国の人々がエルサレム神殿に行って礼拝をささげるべきなのに、マルコの屋上の間にきて、礼拝をささげる。                  (2) 使徒 2:41、3千人の弟子が見られる。                  (3) 使徒 2:46-47、毎日神殿で、毎日家で...現場。神様のみことば、祝福、答えが現場にくる。  <b>* 結論</b>                  ▲ 私が住んでいる所があるから地域キャンプは常に思ったほうが良い。そうすれば3つが出てくる。                  (1) チーム構成(使徒 13:1-4)-そこでチーム構成が自然になる(使徒 13:1)                  (2) 現場(使徒 13:2-12)-必ず神様が準備された現場が出てくる。                  (3) 弟子(総督)-総督が完全に神様が備えておかれた弟子。                  ▲ 今日これを(序論)握る瞬間、聖霊の導きを受けるようになる。聖書にあるとおりの答え受ける新しいはじまりがあることをイエス様の御名で祝福します。</p>	<p>70人重職者が必ず見つけなければならないこと(使徒 2:10)</p> <p><b>* 序論</b>                  ▲ 重職者は使徒 2:10 に記録、ローマから来た旅人...                  ▲ 先に2つのことを考えてみなければならぬ。                  (1) だめな人-根本、基本、基礎的であることを少しだけ上手にすれば答えがくる。                  (2) 地域別の伝道専門訓練の根拠-ローマ 16章                  ▲ 重職者は牧会者とレムナントに生涯をかける右腕にならなければならない。                  (3) 一度-聖霊の導きを受けるキャンプ                  ▲ そうすれば、重職者の方は一度は教会に多くの按手執事、勤士、レムナントとともに本当に聖霊の導きを受けるキャンプを試みなさい。                  ▲ 重職者は何を見つけて出さなければならないのか  <b>1.聖書にある最高の答えを神様がいつどのようにくださったのか</b>                  (1) 福音を回復するエジプト時代に答えを与えられた(出 3:16、18、ヨシュア 3:1-13、6:1-20)                  ▲ ここに大きな鍵が重職者だ。                  (2) 福音とともに出(ピロソウ)するとき(ハイ 2:1-9)                  ▲ ハイ 2:1-9 節に祭司に話せ、総督に話せ、すべてのつかさを立てて民に話せ。その日に天と地と海と国々が揺り動かされるようになる。成就する日が重職者が起きるときだ。                  (3) 出ローマのとき                  1) マタイ 16:13-、ピリポ・カイザリヤで...あなたは生ける神の御子キリストです。                  2) 使徒 1:14、この契約がマルコの屋上の間に伝えられた。ここにとても重要な70人が参加した。                  3) この契約を握った人々がローマ 16章の人々であるが、250年後にローマを完全に征服した。                  ▲ 使徒 1:1-8 節の中にすべてが入っている。  <b>21世紀課題を強く握りなさい</b>                  (1) 70%-90%が未自立となっている教会を生かさなければならぬ。                  (2) 崩れる次世代-レムナント、後進国のエリートを生かして大きくするほど答えを受けなければならない。                  (3) 門を閉める教会、門を開ける教会堂を生かさなければならない。  <b>3.契約的な答えを受けなければならない</b>                  ▲ 本当に福音を受けた人で、福音を伝える人ならば、神様が契約的祝福をくださる。祝福の根源-根源的祝福、あなたによって-代表的祝福、国々が-時代的祝福、あなたの子孫によって-記念碑的祝福、立ちほだかる者なくなる-不可抗力的祝福                  (1) 唯一性(ただキリスト)-多元論にだまされるな。                  ▲ すべての宗教は良いわけだがキリストではない。                  (2) 奇跡-新神学                  ▲ このごろ何の奇跡があるのかと新神学がいちばん優れている。                  (3) 絶対主権-合理主義                  ▲ 神様の絶対主権を信じない。ですから合理主義神学が出てくる。人は合理的であるべきだが、救いは合理主義を持っては受けられない。  <b>* 結論</b>                  (1) 私の人生、そこにしたがって私の伝道-この日から神様が動かされる。                  (2) 日(使徒 2:1)-五旬節の日になって...                  ▲ 私の人生に何を持って人を生かすのか。それを見つかる日、正しく働きが起きる。</p>	<p>ミッションホーム夢があるミッションホーム(使徒 19:9)</p> <p><b>* 序論</b>                  ▲ 使徒 19:9、弟子を別に立てたというみことばが出てくる。別に集まるのではなく、別に立てる目がなければならない。これを一番上手にできるところがミッションホームだ。                  ▲ ミッションホームで一番基本的にすべきことが人々に夢を植え付けなければならない。夢があるミッションホームだ。人々に第一で与えられる贈り物が希望であるが、まことの希望(キリスト)だ。                  ▲ みなさんは今、3つのミッションホームを夢を見なければならぬ。初代教会がこれするために弟子を別に立てた。  <b>1.家</b>                  ▲ みなさんの家が結婚をしたり開始するのに第一に重要なことが①10年だ。ここで3つのことが決定される。基礎がすでに終わった。そして、私が今よく暮らせる事業、職業基礎ができたかできていないかがこの時だ。もちろん、機会はいつもあるが、この時が基本的にそうだ。そして、私が正しく信仰生活をしなければならぬ時がこの時だ。ミッションホームになるほど答えを受けなければならない。それを見て②伝道と言う。この程度に答えを受ければ、自然に世界が見られる。それを③宣教と言う。伝道ということは、その地域を生かさずほど答えを受けるといふことだ。10年ということ、霊的に福音を理解して味わうことを言う。                  ▲ この3つが形成された家-                  (1) 使徒 1:14、マルコの屋上の間だった。                  (2) 使徒 2:41、3千人が起きるほど答えを受けた。                  (3) 使徒 2:46-47、毎日家で、神殿で...                  (4) 使徒 7:1-10:45、すべての信徒がいる家が伝道現場                  (5) マケドニヤ-必ず家に入っていったが、それがマケドニヤ伝道だ。                  (6) ローマ-このとおりの方法でローマまで行った。                  ▲ 教会も、健康も、はやく根本、基本、基礎を見つけない。根本ということは霊的な部分、基本ということは人格を言う。基礎は経済や生活を言う。  <b>2.教会-みなさんの教会がこの役割を遂げなければならない</b>                  (1) 使徒 2:1-6(礼拝)、五旬節の日のみわざが起きたのだ。こういう生活と祝福を教会で見ようさせなければならない。                  (2) 使徒 2:42(フォーラム)、説教だけ聞くのではなく、教会の中で使徒の教えを受けて、交わりをしながら、パンを裂きながら...                  (3) 使徒 4:29-31(力)、教会に危機がきたがさらに集まって祈って                  (4) 使徒 12:1-25(力)、より大きい危機-より大きい答えを受けた。                  (5) 使徒 19:1-7(門)、あなたがたが信じる時に聖霊を受けたか                  ▲ 教会の中で私がどのように礼拝に成功するのか。このみことばをどのように他の人とフォーラムするのか。危機に会ったとき、私たちがどのように力を得るのか。危機、困難がきたとき、伝道と宣教の門をあけるのか。  <b>3.世界 2万大学-弟子、エリートを探して育てなさい。</b>                  (1) 使徒 17:1、パウロが準備しておいて会堂に入っていた。                  (2) 使徒 18:4、重職者プリスカ、アクラ夫婦に会ったが、その人々と共に会堂へ                  (3) 使徒 19:8、ソラノで第一に重要に入ったところが会堂に入った。どんな戦略を使ったのか。みんなが神様のみことば、福音を聞くよう戦略を使った。  <b>* 結論-まことの夢</b>                  ▲ 私が持ったことがあるない関係なく、まことの夢を見なければならぬ-レムナント7人、初代教会がまことの夢を握った</p>	<p>いやしの働き-最も至急ないやし-無能のいやし</p> <p><b>* 序論</b>                  ▲ 最も至急ないやしは何か。無能のいやしだ。大部分の人に会ってみれば、言葉は上手にするのに力がない。                  ▲ 序論-どんな無能なのか                  (1) 無気力-力が弱いから無気力だ                  (2) 霊的問題-少しあとで霊的問題がくる。長い時間が過ぎたのだ。                  (3) うつ病、そううつ病、精神的な問題がくる。                  (4) 経済-こういうことで、私を最も無能にさせるのが経済だ。                  (5) 教会未自立-神様は全能なのに、教会に行くと教会は全能でない。未自立だ。                  ▲ このまま置いておいてはいけぬ。聖書箇所三つをはっきりと植え付けなければならない。  <b>1.ただ聖霊</b>                  (1) 使徒 1:1 キリスト、使徒 1:3 神の国、使徒 1:8 聖霊の満ちし                  ▲ 少しだけ祈りに集中できる時間を5分だけ持っても、力が現れる。                  (2) 姿勢                  ▲ 少しだけ人にしたがって祈りの姿勢を教えなければならない。朝少しだけ早く起きて、5-10分だけ深くみことばを黙想しなさい。そうすれば、答えがくるようになって、力を得て聖霊の満ちし方が何かを知るようになる。                  (3) 霊的世界                  ▲ 霊的世界を教えなさい。使徒 2:1-47 節だ。                  ▲ これを毎日味わって、少しあとで毎瞬間味わいなさい。  <b>2.ただ力</b>                  (1) 神様の基準、水準-それであなたの基準を持って祈らずに、神様の基準でしなさい。私の水準でせずに神様の水準でしなさい。                  (2) イエス・キリストの権威                  ▲ その味わう方法がイエス・キリストの権威だ。                  (3) 聖霊の働き                  ▲ その権威を味わうようになれば聖霊が動かされる。そうすれば、力がでる。  <b>3.ただ証人</b>                  ▲ この時から、ただ証人になるのだ(使徒 1:8)                  (1) エルサレム-職業化された宗教人、これから生かさなければならない。                  (2) ユダ-教権化された教会。ここで伝道運動を起こさなければならない。                  (3) サマリヤ-カルト化された教会                  (4) 地の果てまで-政治化された教会。福音運動をしなさい。                  ▲ ここに伝道運動を起こさなければならない。  <b>* 結論-個人のいやし</b>                  ▲ 今日からこの契約を握って個人のいやしを始めなさい。どのように。                  (1) 使徒 1:4、祈りに専念した                  (2) エペソ 6:18、いつでも聖霊にあって                  (3) IIコリント 12:1-10、深く入りなさい。だめだという私を捨てるほど深く入りなさい。無能がキリストの中ですべて崩れるようになる。                  ▲ わが子よ、キリスト・イエス中にある恵みによって強められなさい!</p>
--	--	---	--